

札幌市公共交通協議会 協議運賃部会 開催結果

1 開催日

令和6年(2024年)1月24日(水)

- ※ バス事業者(以下5社)毎に5つの部会を個別に開催
札幌ばんけい株式会社、ジェイ・アール北海道バス株式会社、
株式会社じょうてつ、北海道中央バス株式会社、夕張鉄道株式会社(50音順)

2 議事概要(各部会の内容を一括して掲載)

(1) 運転手確保に向けた考え方について

＜バス事業者以外の委員からの発言＞

- ・日頃、私達の足を確保いただいていることに心から感謝を申し上げる。現状の緊急事態の中でバス事業者の皆様これ以上負担をかけるのは難しく、むしろ私達の足をしっかり守っていただくため、運賃改定は必要と考える。
- ・運転手確保には、各社苦慮されていることは十分承知をしている。ぜひこの運賃改定を機に運転手の待遇改善についても前向きに対応していただきたい。

＜バス事業者からの発言＞

- ・現在、採用者数に比べ退職者数が多く、不足する運転手を休日出勤で補う状況となっている。
- ・本来、路線バスよりも貸切バスの方が収益をあげられるが、運転手が不足する中で皆様の日常生活の足を守っていくために、貸切バスの運転手を削り路線バスにあてている状況。その中で収益性を改善していくためには運賃改定が必要である。
- ・「採用者を増やすこと」と「退職者を減らすこと」に向けて、待遇改善は必要と認識しており、すでに取り組み始めている。
- ・定期昇給は現在も行っているが、給与のベースアップも検討(または実施)している。
- ・労働環境の改善も非常に重要と考えており、営業所に仮眠室やトレーニングルーム、シャワー室を設置するなど、運転手が休憩時間を快適に過ごすことができるような環境づくりも進めている。
- ・今後も更なる待遇改善を行っていくに当たっては、「休日の増加」、「休日出勤の減少」、「拘束時間の短縮」、「勤務間インターバルの確保」、「賃上げ」など様々な課題があるため、収支状況を見ながら優先順位をつけて取り組んでいき、魅力ある職場づくりを目指していきたい。

(2) 採用活動について

＜バス事業者以外の委員からの発言＞

- ・既存の運転手の待遇を改善することのほかに、若年層の担い手を確保する意味で新規採用にも力を入れることも重要と考える。

＜バス事業者からの発言＞

- ・労働市場での競争力を高めるためには、休日日数や初任給など採用条件を見直すことが必要。
- ・求職者にとって魅力のある採用条件とするとともに、採用した運転手の離職を防ぐためにも待遇改善に取り組む必要があると考えている。

(3) 運賃改定後の取組の公表について

＜バス事業者以外の委員からの発言＞

- ・運賃改定は、バス利用者の足を維持するために必要なことだと考えている。
- ・運賃を上げることによる成果について、今後示していただくことが利用者の安心にもつながると思う。

＜バス事業者からの発言＞

- ・運賃改定の効果をどのように取組へ反映したのかについては、可能な形で皆様に公開していきたい。

(4) 運賃改定後のサービス水準について

＜バス事業者以外の委員からの発言＞

- ・運賃改定を機に、運転手の待遇改善を行うことなどを進めていく一方で、値上げによる乗客数の減少も想定される。
- ・運賃が上がったとしても選ばれる路線やサービスどのように作っていくか。そこを考えていかないと増収にはつながっていかない。既存の路線をどのように磨き上げていくか。

＜バス事業者からの発言＞

- ・バス事業者として、札幌市内の路線をまず確保し、安全・安心を担保しながら運行を継続することが最大の使命と考えている。
- ・やむを得ず減便が必要な場合も、均等なピッチで運行することなどによって、利用者の利便性を損なわないための配慮が大切と考えている。
- ・大きく費用がかかるサービスや大幅な割引は難しいが、例えば企画券、新たな定期券、バス-バス乗継など、どういったことができるのかを今後検討していきたい。
- ・既存のサービスについても、利用者の利便性向上のため、適宜改善していきたい。
- ・値上げにより利用者の皆様の負担は増加してしまうが、バス路線の維持のために必要なこととして御理解いただきたい。
- ・今後も、バス事業者だけではなく、他の交通事業者や札幌市が連携し、様々な見直しを行う必要があると考えている。

3 協議結果

各社の運賃改定案について原案のとおり協議が調った。